1 集落活動センターの取り組みについて

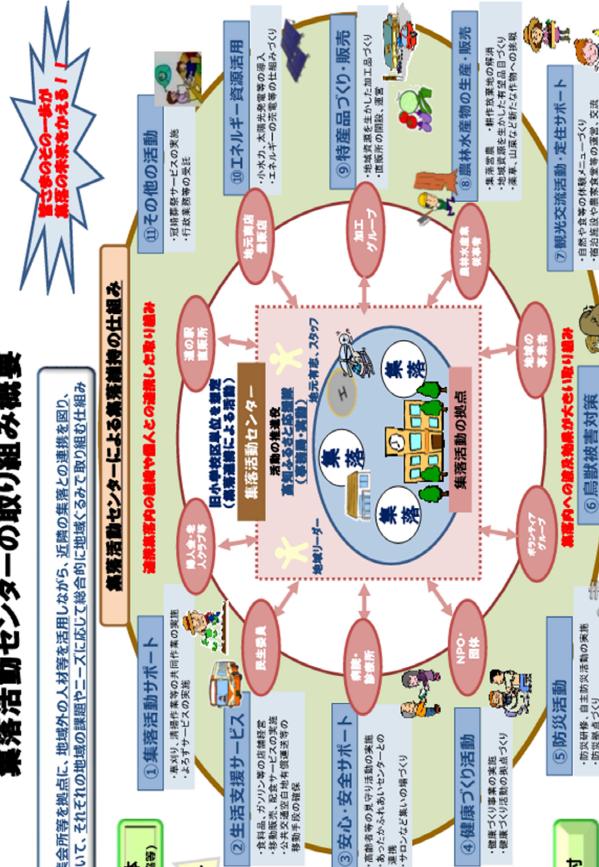
集落活動センターの取り組み裁製

コカンターカロ

生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み 地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、

(商工会、農協、社協等)

地域団体



支援チームによる支援

アドスイヤーの派儀

財政支担

生活

産業

単物化の関金

福祉

足型

情報発信による支援

医療

から値やかなど被

やニーズに応じ

防災

センターにとの

を を かんしん ボーク ボーント

主役である住民の皆様と市町村の一体となった取り組みを支援 ①主役は、地域住民の置さま

シードーダーオの管理性の現代の 住民の皆さまの話し合いから生まれ たアイデアや提案を取り組みに繋げ

集会所や廃校となった複数など、住民の皆 さまが自然と集い、語り合える場所が拠点 砂糖の他の種を与やすい種類が 新聞の中心

住民の皆さまと一緒に取り組むUターン、移住者など地域外の人材の導入 仏様々な人材を活用

治罪の集権が回いに強禁し、即け合 うことにより、今までできなかったこと ⑤集落の連携による取り組み が可能になる取り組み

・铅音家情報収集やお試し滞在サボ

・シアエ(ツ七を、ツツを棒)の製り着す

・無路ぐるみの防察対策の実施

(1)

- ヘリボートの物館・沿田

- 記収数点 がい

挈

囯

Æ

古町社と既由に施築

6 鳥獣被害対策

イベントの保証

1

9

07CM10

SET CALL

0

(

iii iii

(田小学校、集会所件之)

复

100

复

皆さまのその一多が埋落の未来をかえる

素権指揮センターの限り組み無限

"思い"を"形"に〜 歩踏み出し、 (集落活動センターの立ち上げまで

ステップ2

日々の毎込で困って いることや不安に思う ことは?

まずは地域で話し合い

集落の現状 や課題は?

ステップ1

も減の"馬こ"をワソしにする 市町村とイメージを共有し、

油動物点は どしにする? 運営主体は?

自分たちの集塔の 魅力は?

600

ð

具体的な活動内容 や活動計画は3

取り組むかについて、具体的な活動内容や 計画にまとめましょう。 ハン頃」「誰か」「何を」「どのように

集落の課題をともに考え、やりたいことや<u>で</u>きる ことを具体的にイメージしてみましょう。

ステップ3

⇒集落活動センターを核とした仕組み作りへ 地域の"思い"を形にする

◇集落活動 センターの ボイント◇

①主役は地域住民の皆様

③皆様の集まりやすい場所が活動の拠点

●様々な人材の活用

⑤集落の連携による取り組み

金を活用し、住民主体の活動がスタートします。 話し合いでまとめた計画をもとに、必要に応じて県の

0

指揮のイメーツ 100 ~集落活動センターによる集落維持の仕組み~ 6 * Í 美徳知道を サーム ービス 生態を選り C 중 사람 경우 경구스 行権を占くひのかが一下の 祖母か Vュ 體 海洋湖道 集落活動センターの姿 植智学 学家 梨 数に移信の場合 部分 谷間値シヘユ S

②活動は地域のオーダーメイド

など「人」と「施策」を 支援ハンドブック作成、 米県では、補助制度、 県と市町村が皆様の アドバイガー派遣、 女接チーム舗成、 総動員して支援 取り組みを支援 しています。



有格実動闘者の結果から 平成23年度1

▶中山間地域では、若者層や壮年層の地域外への流出により、<mark>集落活動や産業の担い手不足が深刻化</mark> ⇒コミュニティー機能が雑持できない、地域の支え合いや見守りができない、産業の衰退に拍車がかかるなどの課題を誘因

68.9%の集落が「1ターン移住者を受け入れたい」と回答するなど、**外部からの人材の受け入れを希望**



も域の 活柱化・担い 手の 解保のために

⇒<u>地域住民の皆様</u>とともに、新たな視点を持って、集落活動セクターを拠点とした仕組みて入りをはじめとする 「地域内の人材の活用」に加えて、「地域外からの人材の導入」が必要

地域活動の推進役となる人材



複数ややなどの部類

*総務省「地域おこし協力隊」・「集落支援員」を含む

特産品づくり・販売、観光・交流事業、地域交通の仕組みづくりなど 公市町村が特定した産業づくり、地域おこしに関する支援活動 ★集落活動センターの運営活動、設置に向けた準備活動

公特定されない幅広い産業づくり、地域おこしに関する支援活動

高知ふるさと 応援隊・市町村に対する 支援

的豐取麵

〇財政支援(導入~活動段階を通じて)

・画知みるなどの趨縁を対象とした研修会、交流 〇応接隊の活動にかかる支援

集落活動センター推進事業費補助金による支援

〇財政支援(導入~活動段階を通じて)

導入段略

補助率》市町村事業費の2分の1以内 (上記★のみ)

補助上限額》隊員1人あたり 1,250千円

対象経費》シケー活動従事者等の人件費・活動経費

・集落活動センター研修会の開催

勉強会等の開催

全国規模の研修会、各分野の研修会等に関す る情報提供等

〇定住準備にかかる支援

移住相談会や全国規模の支援団体等を通じた

県外での募集説明会の開催

○募集|こかかる支援 (対象期間) 最長4年

- ・移住・交流コンシェルジュなどによる定住に向け たフォローアップ
- 就業に向けたセミナー、研修会等に関する情報

つ導入市町村等への支援

移住促進と連動したプロモーション活動 等

O応接隊の取り組み・支援策の情報発信

移住相談会等での情報発信

導入市町村等を対象とした研修会、意見交換会 高知県における集落活動センターやあったかふ れあいセンターの取り組みの全国的な発信 ○県の中山間対策の取り組みの情報発信

拓劃終了後

~導入段階から活動段階、活動終了後までの総合支援を実施~

〇農林水産業への就業支援

- 就業前の技術取得指導
- 就業支度や準備への支援等

〇起業、開業等に向けた支援

- ・産業振興関連等の助成制度の紹介
- シェアオフィス等による起業等の支援等

つ生活基盤づくりへの支援

- ・暮らしに関する身近なサポートを行う「地域移 住サポーター」の軸及
 - 空き家パンクの登録情報の充実 移住者支援住宅の整備促進
 - 「移住者交流会」など移住者間 ネットワークの強化等

